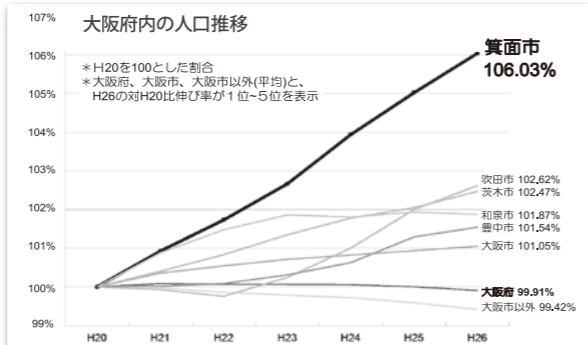
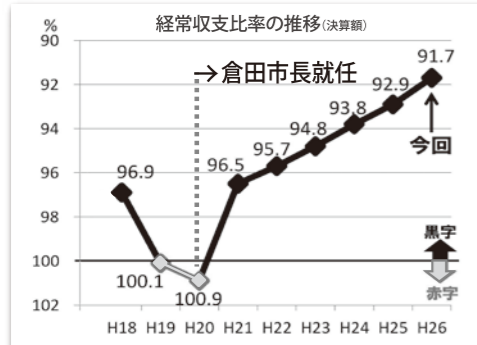


倉田哲郎の これまでの 仕事

倉田哲郎市長は、市長就任の翌年度に、それまでの慢性的な財政赤字を一気に解消しました。以後、箕面市財政は連続黒字を継続し、2012年度決算では10年ぶりの完全黒字を果たしています。まさに「子どもたちの世代にツケをまわさない」という自らの言葉どおりの財政V字回復です。その一方で、緊縮財政にありがちな削減一辺倒に陥ることなく、「子どもの医療

費助成の大幅拡大」「小中学校の100パーセント耐震化」「図書館の新設」「オレンジゆずるバス」「箕面川床」、そして「北大阪急行線の延伸決着」など、果敢な積極策が展開されてきました。その結果、現在、箕面市の人口は年1パーセントずつ成長し、ついに13万人を突破。住みよさランキングで4年連続の大阪1位を達成しています！



箕面まちづくりニュース “市民のチカラ!”

2016年05月号

箕面の明日をつくる会 Fax 06-7635-7195

さらに住みやすい街へ 箕面のまちづくり、トップスピード!!

2008年に全国最年少の市長として就任以来、卓越した実行力で箕面のまちづくりを加速させてきた倉田哲郎市長。

「子どもの医療費助成の中学校卒業までの拡大」、「ラジオ体操や健康ウォーキングの推進」、「オレンジゆずるバス & タクシーの運行開始」、「防犯カメラの配備」といった生活に密着した街の変化。そして、「中央図書館・小野原図書館の整備」、「小中学校の100パーセント耐震化」、「松寿荘のリニューアル」など多くの拠点施設の再編整備。さらに、遂に現実のものとなった「北大阪急行線の延伸」。

こうしたたくさんの取り組みを、箕面市財政のV字回復と両立して実現させてきた倉田哲郎市長の2期8年間。その仕事ぶりは、口ぐせの「変えるべきは断固として変え、伸ばすべきは思い切って伸ばす」「子どもたちの世代にツケをまわさない」を、まさに裏切ることなく具現化してきた2期8年間でした。

今回の“市民のチカラ”ではこの先の10年、20年をも見据えて、箕面が優しく住みやすい街であり続けるために、倉田哲郎市長がさらなるステージにおいて取り組む、新たな政策をご紹介します。箕面の将来の夢を、倉田哲郎市長と一緒に実現していきましょう。



スピード
実行力

**倉田哲郎市長って
どんな人?!**

- プロフィール
 - 昭和49年 静岡県清水市(現・静岡市)に生まれる
 - 平成9年 東京大学法学部卒業
 - 郵政省(現・総務省)入省
 - 平成15年 箕面市役所に勤務(出向)
 - 平成18年 総務省に戻る
 - 平成20年 総務省を退職し
市長選挙に挑戦
 - 最年少
34歳で箕面市長に初当選
(当時、全国最年少)
 - 平成24年 全国市長会理事
- ◆特技 日本泳法(水府流太田派)
日本水泳連盟主催の
全国大会で団体戦優勝
- ◆趣味 ベースギターを弾くこと
箕面生まれの3人の息子たち
- ◆口ぐせ 「変えるべきは断固として変え、伸ばすべきは思い切って伸ばす」
- ◆好きな言葉 「為せば成る
為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり」
(上杉鷹山)

財政のV字回復ばかりか
公務員改革をやったのけ、悲願の
「北急延伸」を実現させた

ラジオ体操で楽しく元気

こんにちは、仕事も無事定年退職となり、定期的に物事をする事が無い毎日を過ごしていました。体の衰えが気になっていたものの、体を動かす機会もなく思案しているときに、連れ合いが「もみじだより」に載っていたラジオ体操の会場を教えてくださいました。

ラジオ体操を始めてからは、体も頭もとてもすっきりし、朝の生活リズムもとても安定しました。会場で新しい友人も



でき、体操以外での付き合いも始まり、地域とのつながりもできました。倉田市長さんの健康長寿のキーワード「教育(今日、行くところ)」はラジオ体操で実現できたので、次は「教養(今日、用事がある)」を実現できるよう「箕面シニア塾」などに参加しようと思っています。これからも、高齢者が健康を維持できるいろいろな取り組みを倉田市長さんには期待しています。(西小路 T.K)



2016年4月、倉田哲郎市長は3期目に向けた政策集「倉田哲郎の約束《マニフェスト2016》」を公表しました。今回の“市民のチカラ!”では、皆さんにその一端をご紹介します。

これまで着実に約束を果たしてきた倉田哲郎市長だからこそ実現できる箕面の未来図です。一緒に箕面の未来をつくっていきましょう!

倉田哲郎の約束
《マニフェスト2016》

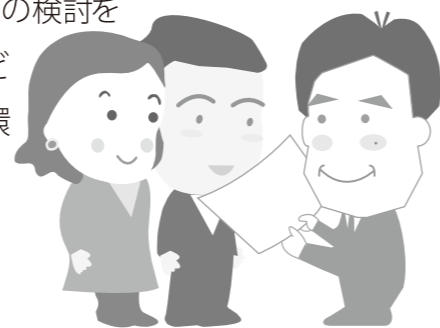
安心・支え合い 最優先

- 「元気で長寿の人が多く」と驚かれるような街をめざして、「シニア活動応援交付金」により、シニア世代の地域活動・サークル活動をサポートします。
- **市立スポーツ施設**について、定期的な改修と備品更新を確約する「スポーツ施設マネジメント・ルール」を策定し、利用料とのバランスをとりつつ改修を進め、**気持ちよく運動を楽しめるように施設を再生**します。
- 高齢者から子どもまで幅広い世代で健康増進・体力づくりを進めるため、**通年利用できる「屋内温水プール」**に、スライダーなどの夏季水遊設備を併設した「総合水泳・水遊場」を整備します。
- **老朽化した「あかつき園」の建替え**を契機として、障害者通所施設を市内にバランスよく拡充し、障害者市民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えます。
- 市民の安心の拠点として開院35年が経過し、大阪府内の公立病院では最古の施設となった「**箕面市立病院**」のリニューアルの検討に着手します。
- 山並みを擁する箕面にとって脅威となる**土砂災害の対策工事**を進め、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)を縮小し、「レッドゾーン内の人家ゼロ」をめざします。

倉田哲郎の約束
《マニフェスト2016》

子育てしやすさ 日本一

- **子どもの医療費助成の対象を、高校卒業(18歳)までに拡大**。通院・入院とも所得制限を設けず、子どもたちの健康を守ります。
- **4年以内に約500名分の保育所定員を拡大**し、年度当初(4月)だけでなく、1年を通して必要なときにいつでも保育園に入れる「**通年の待機児童ゼロ**」を実現します。
- **公共施設や店舗のキッズコーナー・キッズパーク**を増やし、親子で過ごし交流できる身近な外出先を広げるとともに、**各キッズコーナーへの「子育て巡回相談」**により、気軽に子育ての相談ができる環境を整えます。
- **英語ネイティブの外国人の先生(英語指導助手)**を、全小中学校の全学年に1名ずつの全数配置に拡大するとともに、幼稚園・保育園にも派遣し、子どもたちのコミュニケーション力を育てます。
- 徒歩40分を超える長距離通学となっている**船場周辺エリアを新たに1つの小学校区とする学校建設**や校区調整の検討をスタートし、子どもたちの通学環境を整えます。



倉田哲郎の約束
《マニフェスト2016》

緑・住みやすさ 最先端

- 身近な公園について、「**子どもが駆け回る公園**」、「**大人が落ち着ける公園**」など、タイプを分けて特長を伸ばし、子どもから高齢者までそれぞれにあった居心地の良い空間になるよう公園再生を進めます。
- **山麓保全ファンド**を軸として箕面のシンボル「緑」の保全・育成を進めるほか、箕面の豊かな山を活かして親子で郷土に親しめる**フィールド・アスレチック**を整備します。
- 箕面らしい田園景観を守り育てるとともに、**朝市や学校給食への箕面産野菜**の供給拡大のため、農業者・農業公社とともに農業生産の倍増をめざします。

- 市内の主要施設・商業地を結ぶルートに「**自転車走行レーン(青いレーン)**」を整備し、歩行者が安心して歩ける、自転車もスムーズに移動できる、**歩車分離の安全な外出環境**を整えます。
- 未整備の都市計画道路について、不要ルートの廃止や、欠落ルートの補完新設など、長期的な街の変化を見据え、**今の時代に合わせた道路ネットワーク計画**を再構築します。
- 箕面の西の玄関口である**阪急桜井駅前**の再整備、阪大キャンパス移転後にむけた**粟生間谷**の新たなまちづくり、新名神の開通間近の**止々呂美**の観光資源の拡充など、主要拠点のまちづくりを進めます。
- 北大阪急行線の延伸と2つの新駅の拠点を整備するとともに、**箕面森町・彩都**などニュータウンの生活機能を充実・育成していきます。

子どもの増加率 箕面市が大阪府内第1位!

